



## 「命の授業」

### あきる野市立秋多中学校における道徳授業の支援

福生募集案内所（所長 松本清一 等空尉）は平成27年6月13日（土）あきる野市立秋多中学校において開催された道徳授業「命の授業」を航空自衛隊航空救難団と合同で支援した。

「命の授業」とは秋多中学校の学生に対し、命の大切さ、命の尊さを学ぶ機会として毎年6月に開催されており、例年、講師として警察官や消防士、病院や福祉施設の従業員等、人の命に直接関わる仕事に就く方々を招いている。自衛隊の参加は今回で3回目となる。

授業では、人命救助を任務とする航空自衛隊航空救難団の救難パイロット1名と救難員1名が講師となり、他の救難組織が救出不可能な天候や危険な場所で任務を行うことや、過酷な状況を想定した日々の訓練について、質疑応答を交え約40分間講話を実施した。特に「実際の現場では我々が救出しなければ後に助けに来る者は誰もいない。」という言葉は、学生に強く響いているようだった。

講話後、先生から「生徒が、直ぐに感想文を書き始めたことに驚いた。」との声を聞いた時は、中学生達に命の大切さ尊さが伝えることができた実感した。

福生募集案内所は、「命の授業」を通じて、より多くの学生が自衛隊をより深く理解してくれるきっかけとなればと期待している。



## 「空」から見る東京

### 立川駐屯地航空機体験搭乗実施

東京地本は、平成27年6月13日、立川駐屯地において、東部方面ヘリコプター隊所属のUH-1J2機による体験搭乗を実施した。

今回は、平成27年度初の体験搭乗で、募集対象者等80名が参加した。当日は、関東が梅雨入りになった直後にも関わらず、天気に恵まれ絶好のフライト日和となった。

受付を終えた参加者は、会議室で東京地本隊員による全般説明を受けた後、実際に搭乗するヘリコプターを前にして、パイロットによる安全教育を受けた。

UH-1Jによる体験搭乗は、約20分間のフライトであったが、東京の街並みを一望している間、空から見るスカイツリーや都庁等へ参加者はしきりにシャッターを切っていた。

また、フライトまでの間、陸上自衛隊の制服試着、総合火力演習等DVD上映など体験搭乗との相乗効果により効果的な広報を実施した。

フライトを終えた参加者からは、「初めてヘリコプターに乗るので、本当に今日を楽しみにしていました。実際に搭乗し、窓からの景色だけでなく、ヘリコプター内の振動等通常の飛行機との違いを体験できて良かった。」「パイロットだけでなく整備員等様々な業種があるので、自衛隊の仕事に興味を持った。」といった感想がよせられ、来場者の志願意欲が伺えた。

東京地本は、本イベントを通じて、1人でも多くの青少年たちが、自衛隊に入隊することを期待するとともに、今後も自衛隊を理解してもらえよう多くの機会を提供し、魅力ある広報を実施していくとしている。



## 体験搭乗者からの感想文

### 榎本 駿斗

今回私は、広報官の方の案内から体験搭乗に応募しました。自衛隊の施設に入ったり、隊員の方々とお話しする経験が今まであまり無かったので大変緊張しましたが、とても新鮮で刺激を受ける事が多かったです。

パイロットはユーモアのある方で、事前の機体や安全に関する説明もわかりやすく、とても優しくなりました。左胸につけた航空徽章と時折見せる精悍な顔からは、日々の厳しい訓練に裏付けられた自信や自衛隊員としての誇りのようなものを感じました。

搭乗は、ヘリコプターが初めての私にとっては衝撃的で、また、とても楽しいものでもありました。今回の体験搭乗は、将来陸上自衛隊を志す私にとって大変貴重で有意義な体験になりました。自衛隊のイベントでこのような経験ができる事は私達からしたらとても有難い事です。広報という点で考えても効果的なものだと感じました。